

| | | |
|-------------------------------------|---|---|
| <h1 style="font-size: 4em;">宮古</h1> | <h1 style="font-size: 3em;">ワイドーぱり</h1> | 発行所 宮古農林水産振興センター農業改良普及課 〒906-0012 宮古島市平良字西里1125 TEL : 0980-72-3149 FAX : 0980-72-9751 |
| | 「活力ある農業」の意味 (ワイドー=がんばれ、ぱり=畑) |  |

令和7年度 農業改良普及指導活動について

宮古の皆さんこんにちは。宮古島勤務3年目となります普及課長の友利仁志です。引き続き、よろしくお願いいたします。今年度は、人事異動者1名に替わりフレッシュな新採用職員を迎え、新たな体制で業務推進に当たって参ります。



当課では、【沖縄県協同農業普及事業の実施に関する方針】に基づき、農林水産部の長期計画である【新・沖縄21世紀農林水産業振興計画(まーさん・ぬちぐすいプラン)】の達成に向け、

- ①担い手の育成・確保と経営力の強化
- ②宮古ブランドの産地育成と生産体制への支援
- ③環境に配慮した持続可能な農業生産
- ④魅力と活力ある農村の振興

の4つを柱に、令和5年度からの5カ年計画【普及指導基本計画】と令和7年度【普及指導計画】を策定し、普及指導課題と指導対象を重点化しながら計画的な普及活動を展開して参ります。

当課は、農家の皆さんや地域に接した農林水産部の最前線機関として、宮古島市や多良間村、JAや製糖工場、農業共済等の関係機関、農家組織との連携を密にし、当地域に合った各種栽培技術や経営能力の向上を支援し、優れた農業者の育成・確保とともに宮古ブランドの確立等を目指していきます。また、組織力を最大限に発揮できるよう特に重要な課題に対しては、プロジェクトチームを設置し、班を横断した総合的な支援体制を構築して取り組み、効果的な業務を推進して参りますので、今年度もご協力のほどよろしくお願いいたします。

令和7年度 活動体制



<異動者>
宮平わかな (糖業農産課)

※青太字は新担当者

「PDCAサイクル」と 「経営理念」



「PDCAサイクル」とは？

「Plan(計画)」「Do(実行)」「Check(評価)」「Action(改善)」

の頭文字で長期的な視点から事業の継続的な改善をめざす手法です。

Plan(計画)：現状を踏まえ「誰が、何を、どのように、いつまでに」行うのか数字をつかって書きましょう。「なぜこのことをするか」という理由もだいじです。明確にしておきましょう！

Do(実行)：計画を実行し、おこなったことを**作業日誌**に記録しましょう。 ※ 農業改良普及課では「農業経営簿」を作成、配布しています。

Check(評価)：やってみてよかったこと、こうしたらよかったと思うことを書き出してみましょう。

Action(改善)：評価してみて分かった改善点から計画を修正、再チャレンジしましょう！

しかし、デメリットも・・・「ルーチンワークになり新しいアイデアが出にくい」「改善までに時間を要する」など。そこでぜひ、とりくんでもらいたいことが「**経営理念**」の策定です。

「**経営理念**」とは「**経営者の想い・経営哲学**」を言葉にしたものです。「**農業を選んだ理由・どんな農業がしたい・農業で実現したいこと**」など、あなたの「**農業に対する想い**」を言葉にしてみませんか？紙に書いて貼り、共に働く家族、仲間と共有してみてください。一緒に策定するのも、なお良いです。見かえすたび初心にかえり、モチベーションアップにつながります。必要に応じて見直しをおこなうことで、理念と共に経営も発展していきます！

PDCAサイクル、経営理念について、くわしくお知りになりたい方は、農業改良普及課 池間までお問い合わせください！

土壌分析をしてみませんか？

～土壌検診のすすめ～



ホームページ

土の採取方法や提出先など、詳細はホームページ等でお知らせします。

サンプル受付期間

5月12日(月)～6月26日(木)

※分析に使用する機械が製造中止になったため、土壌検診週間(無料)は令和7年度を以って終了します。

令和8年度以降は各自、民間の分析機関への委託をお願いします。

なぜ土壌分析をするの？

土壌分析は「畑の土の健康診断」といえるもので、土づくりへの第1歩！
施肥設計を適正に行うためにも土壌分析は重要です。

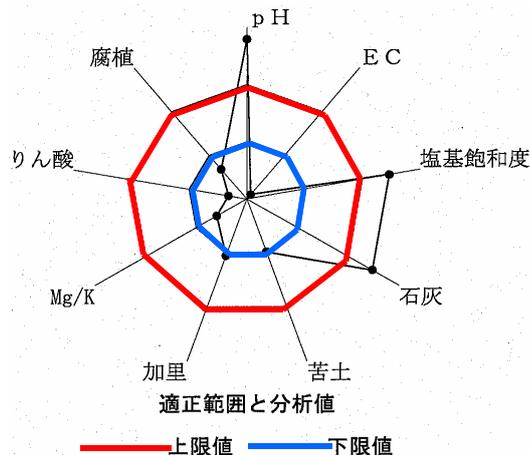
土壌分析で何が分かるの？

pH：作物にはそれぞれに適したpHがあります。
畑のpHと作物の適正pHが合わない場合はpHを調整する必要があります。

EC：土壌中の塩類濃度の目安となります。
一般に、窒素量(硝酸態)との相関が強く、この値が高いと、塩基障害の原因にもなります。

腐植：腐植が増えることで、土壌が団粒化し、
根張りや排水性の改善になります。

加里(K)、苦土(Mg)、石灰(Ca)、リン酸(P)
各成分のバランスが分かることで、肥料の選択や使用量が決められます。



樹勢や農作物の様子と比較して



- ①pH、塩基(石灰、苦土、加里)が高くなっていたら
⇒堆肥、肥料、鶏ふんの使い方が正しかったか？
- ②去年、作物の欠乏・過剰症があらわれた。
⇒塩基のバランスが悪くなっていないか？

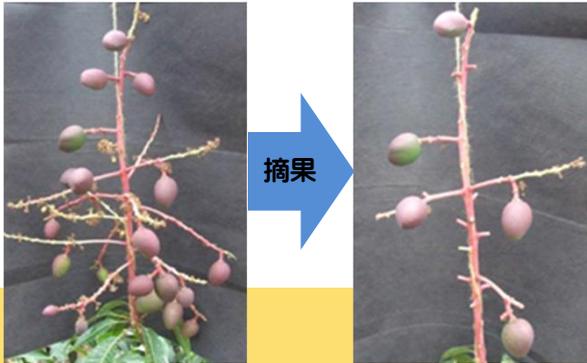
特に施設栽培では、肥料の蓄積が多くなるので、土壌分析を実施して
基肥の目安としましょう

マンゴー5月の管理ポイント

今年の満開期は3月中旬頃となりました。しかし、低温の影響による着果率の悪さや生育ステージのばらつきが見られます。以下の管理ポイントを参考に、収穫まで適期管理を行い、品質の良い果実生産を目指しましょう！

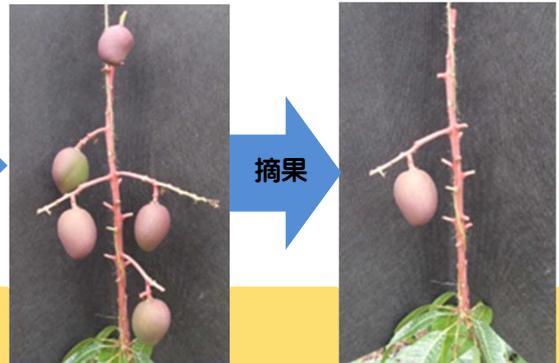
摘果のポイント

果実が鶏卵ほどの大きさになったら、下の図を参考に仕上げ摘果をしましょう。結果母枝の太さや樹全体の着果量、樹勢、旧葉の枚数などのバランスを考え、1枝に1～2個程度を着果させるようにしましょう。今期の着果負担が大きいと、来期の収穫量にも影響します。



一次摘果(粗摘果)

果実が親指大のとき5～6個程度選ぶ



仕上げ摘果

鶏卵大のとき収穫する果実を1～2個にする

高温対策

35℃以上の高温や強い日差しにより、果実の肩口を中心に**日焼けが発生**します。特に曇天の晴れ間に注意しましょう。また、高温下では肥大が進まない・十分に着色しない・低糖度など、品質に悪影響を及ぼします。

出入口の妻面等のビニール除去、遮光ネットの設置などの工夫をし、ハウス内の温度を30℃前後に保つよう心がけましょう。また、夜温が20℃を下回ると果実の肥大が緩慢になるので、夕方以降のビニール開閉に気をつけましょう。



遮光ネット
(内張)

遮光ネット
(外張)

病虫害対策

病虫害の発生を抑制するためには早期発見・早期防除が決め手です！
定期的に園内を見回ることを心がけましょう。

また、1986年に根絶した**ミカンコミバエ**は近年、外国からの飛来が増加しています。マンゴーも寄主植物となっていますので、下記の3つを心がけましょう。

- ①施設の出入り口は出入り時以外は必ず閉める。
- ②防虫ネットの破れは補修する。
- ③落下果実や摘果後の残さ等はビニール袋に入れ密閉して処分する。

ミカンコミバエがまん延すると地域に大きな被害をもたらします。まん延防止にご協力をお願いします！



マンゴーの裂果に飛来した
ミカンコミバエ

セグロウリミバエの侵入防止にご協力ください

沖縄本島でセグロウリミバエが発生しており、現在、沖縄本島からウリ科植物などの寄主植物を島外へ出荷する際は検査による合格証が必要です。宮古地域では発生が確認されていませんが、沖縄本島経由で出荷する場合、船の積み込みの都合等により本島内で数日程度一時保管する場合はネットなどで密閉する必要があります。

宮古地域への侵入を防ぐため、以下のことに注意しましょう。

○沖縄本島から入ってくる農産物に幼虫（ウジ）などが確認された場合はそのまま廃棄せず下記の関係機関へ連絡ください。

○下記の植物（農産物）は移動制限がかかっています。沖縄本島から持ち出すことができません。持ち出す場合は検査を受け合格証ラベルを貼る必要があります）。



セグロウリミバエ



ウリ科果実から
出てきたウジ(幼虫)

セグロウリミバエが寄生する主な作物

以下の植物の**果実と花**

- うり類（ゴーヤー、カボチャ、ヘチマ、スイカ、トウガン、モーウイ、キュウリ、メロンなど）
- さやいんげん、トウガラシ、ピーマン、トマトなど
- パッションフルーツ、パパイヤ、バンジロウ（グアバ）、スモモ、ドラゴンフルーツ、ノニなど

| | |
|---------------------|--------------|
| 宮古農林水産振興センター農業改良普及課 | 0980-72-3149 |
| 〃 | 〃 |
| 〃 | スタッフ |
| 〃 | 0980-72-2552 |
| 沖縄県病害虫防除技術センター宮古駐在 | 0980-73-2634 |
| 那覇植物防疫事務所平良出張所 | 0980-72-2433 |

新規就農サポート講座 受講生募集!

新規就農者が早期に経営確立できるよう、基礎的な内容が学べる講座を開設します。

【受講対象】 就農3年以内の新規就農者、青年農業者、就農希望者 など

【開催場所】 宮古農村青少年教育センター、農業研究センター宮古島支所、他

【申込方法】 受講申込書を **6月6日まで** に農業改良普及課(沖縄県宮古合同庁舎1階)へ提出

| | 開催日時(予定) | 講座内容 |
|-----|--------------------------|---|
| 第1回 | 6月18日(水) 14:00~16:00 | 1. 就農するにあたって 2. 新規就農体験 3. 宮古島の補助事業、農業共済事業 4. 土づくり |
| 第2回 | 7月16日(水) 14:00~16:00 | 1. 新規就農支援対策 2. 農作業安全の基礎知識(実演) ①農作業安全講習会 ②農業機械操作実習 |
| 第3回 | 8月13日(水) 14:00~16:00 | 1. 施設野菜の現状と基礎知識 2. 露地野菜の現状と基礎知識 3. 病虫害防除対策と農薬の適正使用 |
| 第4回 | 9月17日(水) 14:00~16:00 | 1. さとうきび栽培の基礎知識 2. 農業委員会の取り組み 3. 農地中間管理機構の取り組み 4. GAP(農業生産工程管理)の概要 |
| 第5回 | 10月15日(水) 14:00~16:00 | 1. 果樹栽培の基礎知識 2. JA各組織、ファーマーズマーケットあたらす市場の活動 3. 経営管理、農業関係資金、税・記帳代行 |
| 第6回 | 11月19日(水) 13:30~16:30 | 1. 農業研究センター宮古島支所視察 2. 農業のプロに学ぶ~現地視察研修~ |

※開催日時、内容等は都合により変更することがあります。お問い合わせ下さい。

就農ステップアップ講座について

新規就農者等の早期の就農ビジョンの実現と経営確立を目的に、応用的・実践的な内容を加味した講座を開催します。詳しくは、農業改良普及課までお問い合わせください!

【対象者】 30名程度(新規就農者育成総合対策、農業次世代人材投資事業対象者など)

【内容】 講習会や受講生・優良農家での現地検討会を行います。
 全体講座 : 1回(事業要件確認、新規就農者の心得など)
 品目別講座 : ゴーヤー、とうがん、さやいんげん、オクラ、カボチャ、マンゴー、畜産を各1回

【講座の通知方法】 受講者には案内文書を郵送及び電話連絡します。

